

平成26年度 行財政の概況

決算の概況

関川村の平成26年度の一般会計と特別会計及び水道事業会計の決算額は、次のとおりです。

(1) 一般会計と特別会計

歳入歳出決算状況

(単位:千円)

会計名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	差引 A-B=C	翌年度へ繰 り越すべき 財源 D	実質収支 C-D	単年度収支	財政調整 基金積 立・取崩	実質単年 度収支
1 一般会計	4,653,840	4,464,442	189,398	21,445	167,953	39,716	440	40,156
特別 会計	2 国民健康保険事業	674,802	598,997	75,805	0	75,805	0	30,977
	3 国保関川診療所	57,401	54,466	2,935	0	2,935	△ 228	△ 228
	4 介護保険事業	1,000,157	948,331	51,826	0	51,826	0	25,473
	5 後期高齢者医療	61,033	60,808	225	0	225	△ 9	△ 9
	6 村有温泉	9,112	8,844	268	0	268	240	240
	7 宅地等造成	6,796	6,670	126	0	126	△ 4,338	△ 4,338
	8 簡易水道	55,575	52,223	3,352	0	3,352	367	367
	9 公共下水道事業	451,056	446,335	4,721	0	4,721	△ 2,267	△ 2,267
	10 農業集落排水事業	112,678	107,477	5,201	0	5,201	△ 272	△ 272

一般会計と特別会計決算額の単純合計は、

歳入 70億8,245万円(前年度 71億5,840万3千円)

歳出 67億4,859万3千円(前年度 68億8,906万8千円)

で、前年度と比べると歳入は1.1%(7,595万3千円)減少し、歳出は2.0%(1億4,047万5千円)の増額となりました。

平成26年度においては継続的な大規模事業はありませんでしたが、災害復旧工事(4,925万8千円)はじめ、大石ダム湖畔公園遊具設置工事(1,615万8千円)、村民会館屋根防水工事(1,497万3千円)などを実施しました。

また、村上市の新ごみ処理場の負担金は前年度に比べて37.9%(2,451万8千円)減少しました。(平成26年度で終了)

特別会計については、国保関川診療所会計の歳出で178万5千円、村有温泉会計の歳出で187万1千円、簡易水道会計の歳出で332万1千円、農業集落排水事業会計の歳出で607万6千円、それぞれ前年度に比べて増加しました。それ以外の特別会計では、歳出が前年度に比べて減少しました。

(2) 繰越明許費の状況

(単位:千円)

事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
			既収入 特定財源	未収入特定財源			一般 財源
				国県支出金	地方債	受益者負担	
60周年記念事業費	232	232	0	0	0	0	232
財産管理費	9,280	9,280	0	0	0	0	9,280
地域振興費	360	360	0	0	0	0	360
新エネルギー推進事業費	2,000	2,000	0	0	0	0	2,000
地域住民生活等緊急支援交付金事業費	15,187	15,187	0	11,513	0	0	3,674
社会福祉総務費	4,550	4,550	0	4,550	0	0	0
地産地消推進対策費	3,519	3,519	0	3,519	0	0	0
農業農村整備事業費	27,780	27,780	0	0	25,000	0	2,780
県営土地改良事業負担金	4,500	4,500	0	0	4,200	0	300
商工業振興費	11,000	11,000	0	11,000	0	0	0
観光振興対策費	1,200	1,200	0	1,200	0	0	0

(単位:千円)

事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				一般財源
			既収入 特定財源	未収入特定財源			
				国県支出金	地方債	受益者負担	
道路橋りょう整備事業費	96,100	96,100	0	4,030	91,100	0	970
県営事業負担金	200	200	0	0	0	0	200
文化財保護費	15,410	15,410	0	15,410	0	0	0
現年発生災害復旧事業費	53,000	53,000	0	35,551	15,800	0	1,649
合計	244,318	244,318	0	86,773	136,100	0	21,445

(3)水道事業会計

(単位:千円)

区分	収入	支出	差引
収益的収支	102,171	98,434	3,737
資本的収支	16,000	103,323	△ 87,323
合計	118,171	201,757	△ 83,586

※収益的収支には消費税を含まない。

公営企業法が適用される水道事業会計の決算額は、
 収入 1億1,817万1千円(前年度1億2,406万円)
 支出 2億175万7千円(前年度1億9,124万8千円)
 で、前年度と比べると収入は4.7%(588万9千円)、支出も5.5%(1,050万9千円)の増額となりました。
 なお、収益的収支では373万7千円の黒字となりましたが、資本的収支では8,732万3千円の財源不足となり、過年度損益勘定留保資金で補てんしました。

(4)財政指標

(単位:千円,%)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
標準財政規模	3,267,842	3,290,999	3,184,123
健全化判断比率	実質赤字比率	-	-
	連結実質赤字比率	-	-
	実質公債費比率 (3か年平均)	11.8	10.4
	将来負担比率	20.4	23.4
実質収支比率	3.5	3.9	5.3
経常収支比率	83.3	83.1	85.0
公債費負担比率	15.1	16.1	15.5
財政力指数(単年度) 3か年平均	(0.237) 0.232	(0.222) 0.227	(0.227) 0.225
基準財政需要額	2,905,379	2,929,393	2,840,969
基準財政収入額	660,547	649,907	645,762
標準税収入額	835,161	823,504	811,345
地方債年度末現在高	5,193,394	5,072,859	4,959,667
債務負担行為翌年度以降 支出予定額(一般財源等)	44,239	41,330	45,693
経常一般財源比率	95.0	95.1	95.4

実質赤字比率...一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

連結実質赤字比率...一般会計と特別会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

実質公債費比率...公債費の元利償還金等の標準財政規模に対する比率。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(A+B+C+D+E) - F}{G - F}$$

A: 公債費充当一般財源(繰上償還等を除く)

B: 公債費に準ずるもの(「準元利償還金」という=公営企業債の元利償還金に対する普通会計からの繰入金等)

C: 一部事務組合が起こした地方債に充てたと認められる負担金

D: 公債費に準ずる債務負担行為充当の一般財源

E: 一時借入金利子償還金

F: 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された地方債元利償還金及び準元利償還金

G: 標準財政規模+臨時財政対策債

将来負担比率...村が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

形式収支...歳入決算額から歳出決算額を単純に差し引いたものをいいます。

実質収支...形式収支から、継続費、通次繰越、繰越明許費、事故繰越、事業繰越及び支払繰延べに伴い翌年度へ繰越すべき財源を差し引いたものをいいます。いいかえれば本来当該年度に属すべき収入と支出との実質的な差額です。

単年度収支...当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたものをいいます。

実質単年度収支...単年度収支に当該年度において積み立てた財政調整基金積立金及び地方債の繰上償還金を加え、これから当該年度において取り崩した財政調整基金積立金の額を差し引いたものをいいます。

実質収支比率...標準財政規模に対する実質収支の割合。

財政力指数...財政力を測定する一つの尺度として財政力指数があります。これは全国的に見て標準的な行政を行う場合に必要とされる経費(基準財政需要額)と、それを賄うために必要とされる標準的な収入(基準財政収入額)を比較したものです。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \text{の過去3カ年の平均}$$

公債費比率...理論的に算出した一般財源総額に占める公債費の償還に充てた一般財源の割合。

起債制限比率...公債費比率に、普通交付税の算定において基準財政需要額に事業費補正として算入された公債費を加味した過去3ヶ年度の平均値で、財政運営の弾力性を表します。この比率により地方債が制限されます。

公債費負担比率...一般財源総額に占める公債費償還に充てた一般財源の割合で、財政運営の弾力性を表す。実質的な公債費負担の状況を見る場合に使われます。

経常収支比率...経常一般財源総額に占める経常経費に充てた一般財源の割合で、財政構造の弾力性を測定する比率です。通常、経常一般財源総額には、減税補てん債及び臨時財政対策債を含める扱いとなっています。

経常一般財源比率...標準財政規模に対する経常一般財源収入額の割合で、100を超える度合いが高いほど歳入構造に弾力性があることを示します。